

# てんぎょう 轉教

2017 12 DEC

平成 29 年 12 月 1 日発行  
第 18 卷第 12 号 通算 214 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒 113-0021  
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

## 長い目で見る

水谷 随 歡

悩み苦しんでいる人の中には、気が滅入<sup>めい</sup>って自暴自棄<sup>じぼうじき</sup>になり、打開策を打ち出そうと考える意欲も元氣も無くしてしまいう方もあります。

しかし、少し冷静になってみて下さい。客観的な目で自分を見つめて

ほしいのです。周囲を見渡せば、苦境から抜け出した人も沢山いることに気がつくでしょう。そして、苦しみはいつまでも続くものではないとわかるのではないのでしょうか。やけになって、もう開<sup>ひら</sup>ける道はな

い、と思つてはいけません。長い目で人生を見なおしましょう。

たとえば、財産があるから幸福で、無いから不幸という考え方は単純に過ぎます。財産がトラブルを呼ぶこともあるじゃありませんか。追いつめられた状況での判断はとかく誤りを生み出すものです。

現在は好調だからといい気持ちになつて調子に乗る人、逆に不幸だからと悲観してしまう人。どちらも、川の流れの中に浮いたり消えたりする水泡あわのようなものです。それにとらわれて一喜一憂いっきいちゆうするのは不毛だと思ひます。

人生は、今年の天候のように、穏やかであつたかと思つたと突然荒れたりすることもあるものです。穏やかな時は、信心そつちのけで生活し、荒れだすと慌あわてて信心におすがりする。それでも、そこから信心を起こせる人は、悪縁を善縁に変えることが出来た結構な人です。それに対して苦しい時だけ仏にすがり、喉元のどもと過ぎれば熱さを忘れるというように、信心の冷めてしまう人もいます。こんな人は年中同じところをウロウロしている進歩のない人です。その為、先の見えない不安な生活をしなければならぬことに

なります。長い目で物事を見られる人は逆境に惑わされず、また好調な時にも奢おごらないものです。そして、着々と信心も増進し、功德を積んでゆきます。

私共の御本尊は久遠本仏といい、諸仏の中で一番古い仏で、常住不滅めつと法華経に説いてあります。人の世の移り変わりのすべてをご覧になつて、因果の道を体得した最上のお方ということです。

ですから、仏の説かれた教えに素直に従えば、先を見通す力のない私たちでも安心して生活させていただけなのです。

日蓮聖人が「我われ日本の大船たいせんとならん」と仰せられたのは、その御教みおしえを弘めて、一切衆生を救うという決意のお言葉です。ですから、日蓮聖人の御教えを信じ、本門の本尊を持つ人こそ、真の幸福を得られるのです。

年末です。まわりに気落ちしている人がいたら、新年を晴れやかな気持ちで迎えられるように、法華経お題目のありがたさを伝え、すすめさせて頂きましょう。

# 12月のご奉公のすすめ

来年のご奉公テーマは「参詣」です。年が明けるとすぐに「寒参詣」が始まります。今月の内

から参詣目標を立て、今までの寒参詣のよろこびやご利益のほなしを伝えるなど将引に努め、寒参詣のムードを高めていきましよう。

## 一、随喜轉教について

佛立本旨講の弘通発展こそ開講本旨再興日尚上人への報恩ご奉公です。「いつ何が起るかわからない無常の世の中にあつて、信心をすれば現世安穩の喜

びを得られます」と丁寧に伝えさせて頂きましょう。

- ・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(金)から7日(木)
- ・「開講本旨再興祈願」口唱会 10日(日) 午前9時半

## 二、年末お塵払い

御宝前の年末お塵払いは、家族を中心に役中や次世代の方々の応援を頂き、12月なかばまでにさせて頂きましょう。御本尊・御尊像の汚損は必ずお講師に報告して下さい。

# 12月の寺内行事予定表

1日(金)	開講本旨再興祈願	午前10時半
1日(金)	朝参詣週間	
1日(金)	開講本旨再興祈願総講	午前10時半
2日(土)	運営会議	午前9時半
3日(日)	蓮華会・くんげ会合同御講	午前10時半
9日(土)	連合幹事会	午前9時半
〃	後続者育成連絡会	午前10時半
10日(日)	開講本旨再興祈願口唱会(担当第一地区)	午前9時半
〃	若い人の口唱会	午前10時半

三、年末年始の諸奉納

12月26日(火)

年末御有志(お炭代)、お

鏡餅料奉納締切り

平成30年1月31日(水)

初お供米料、寒供養奉納、

初灯明料奉納締切りです。

功德箱を活用してお初穂の

精神を子や孫に伝え、志厚

く奉納させて頂きましょ

う。

五、年末年始の行事

12月25日(月)～31日(日)

年末御礼朝参詣

12月31日(日)

年末御礼御看経 午後4時

1月1日(月)(祝)

元旦会 午前6時半

六角堂初御看経 午前10時

1月3日(水)

初総講 受持講師の紹介

祝杯式 午前10時半

教講初顔合わせ 午前12時半

1月6日(土)～2月5日(月)

寒参詣

1月6日(土)

日教上人御祥月お塔婆申込

み締切

13日(水)

高祖大士御命日総講

午前10時半

17日(日)

開導聖人御命日総講

午前10時半

25日(月)

門祖聖人御命日総講

午前10時半

// 正副教区長会

午後0時半

一地区…和室

二地区…2階ホール

三地区…1階ホール

// 教講ご奉公納め

25日～31日 年末御礼朝参詣

26日(火) 御炭代・お鏡餅料奉納

締切

31日(日)

年末御礼参詣(元旦会・

初御看経・初総講準備)

午後4時

四、成人式の予告

1月21日(日)午前11時より本堂

で成人式が行われます。該当者

宅を訪ね参加を勧めましょう。

# 高祖会で「如説修行抄」を学びました

10月15

## 平成29年10月の寺内行事報告

あいにくの雨模様でしたが、四三〇名を超える多くのお参詣があり、ご奉公者の手際の良い誘導によって、気持ちよくお参詣して頂くことができました。



文字通り、仏の説いた如く実践しましょう、という6章からなるこのご遺文を、今後6年間かけて1章ずつ勉強して行くように準備をすすめます。

今年の高祖会企画は、「如説修行抄」についての分かり易い解説。元々、「如説修行抄」は問答形式になつてゐるため、それを現代風にアレンジして構成しました。

御導師からのご法門前のご訓辞で、「高祖会の短い時間では、1段毎とはいへ、簡単ではありません。今後、講習会、勉強会などを通して、一層理解を深めて行きましょう」とお話がありました。

今回の第1段の解説については、ホームページに掲載しております。こちらも併せてご覧ください。

- 1日～7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間
- 1日(日) 開講本旨再興祈願総講を午前10時半より奉修運営会議を午後0時半より開催
- 7日(土) 連合幹事会を午前9時半より開催
- 〃 後続者育成連絡会を午前10時半より開催
- 8日～14日 高祖会無事奉修祈願朝参詣週間
- 14日(土) 高祖会準備ご奉公を午前9時半より実施
- 15日(日) 高祖会を奉修

## 信行相統にホームページを活用！

高祖会奉修本部の山本久男本部長からのご挨拶は本年度の目標「お教化」に関連して。「ご自身が喜びを感じさせて頂き、その喜びを、とくに身内の方々に感得して頂くご奉公をと、ご指導頂いております。」

その具体的方法として、ホームページの活用について提言されました。

「ここには、毎日御導師より



配信されるメールが、全て保存されています。さらに、諸行事の予定から、行事内容の解説まで幅広い情報が掲載されています。これは、特に若い人に、これからの佛立本旨講妙應寺を理解して、信行相統をして頂く為の情報発信でもあります。ご存知の通りインターネットは世界中で見ることが出来ます。海外におられる家族の方にも見て頂く事ができます。是非、ご活用頂ければと思います。」

次世代を担う方に妙應寺のご信心をこのように理解して頂くのはいかがでしょうか？

第一座 午前10時

第二地区・第三地区（杉並・豊島）

第二座 午前11時半

第一地区・第三地区（西部連合）

17日（火）

開導聖人御命日総講を  
午前10時半より奉修

22日（日）

開講本旨再興祈願口唱会  
を午前9時半より奉修

//

若い人の口唱会を午前  
10時半より奉修

25日（水）

門祖聖人御命日総講を  
午前10時半より奉修

//

正副教区長会を午後0  
時半より開催

31日（火）

赤い羽根共同募金を締め  
切りました。

## 感激の高祖会 お参詣者のひと言から

妙証会東武 Hさん

「如説修行抄というの、信者の心得が書かれていることがわかりました。今後が楽しみです。」と高祖会お参詣の喜びを噛みしめておられました。

今後は、お総講にも是非お参詣をしたい、と抱負を語っておられました。

千葉中央教区 Nさん

雨でも大勢お参詣があり嬉し  
いです。

同 Yさん（次女）

如説修行抄のお話によかった  
です。

富里教区 Sさん

初めてのご奉公で、最初はド  
キドキしましたが、ご信者さん

## りっぱな法要台になりました



練馬教区のYさん、Kさんご  
夫婦の縫製ご奉公により、法要  
台用テーブルクロスが新調され  
ました。

7月9日の日在メールで、あ  
るご信者の「父親の一周忌に、  
家族一同がそろってお寺での法  
要が出来ました…」その後、家  
庭内でたくさん喜びがあつ

相手なので気持ちは楽でした  
し、一緒にご奉公した教区のO  
さんにも助けられました。

た、と紹介されました。

大切な法要を陰で支えるYさ  
ん・Kさんのご奉公、ありがと  
うございます。





## エイジレスライフの実践をする安藤さん

さがみ原教区の安藤 弘さん

は、高齢者が生き生きと活躍できる社会の創生をめざす内閣府のホームページで、平成24年度エイジレスライフ実践者報告として紹介されました。

大学卒業後、自動車メーカー



安藤 弘さん

で開発業務に36年間携わったことで、その間に培ってきた知識と技術は安藤さんにとって貴重な財産

となりました。

高校時代の友人がすでに会社経営をしており、その友人からその知識と技術を活かして「起業」することを勧められたこともあり、退職後に迷うことなく、夢の実現に向けて有限会社を立ち上げたのです。

医療用機器、真珠ネックレス研磨リフォーム装置、無線を利用した20メートル以上離れた場所から地雷探知機を操作して探査者の安全を守るための実験装置（写真下）など、想像力のあふれるアイデアで、世の中の役に立つ製品を作り続けています。



そして、今年度は、「高齢社会白書」の中で、高齢の現状のトピックスとして安藤さんのその後の活躍

ぶりが紹介されました。（下記URL参照）この中で、高齢者で起業を考えている人へのアドバイスや、「今年79歳になるが、死ぬまで楽しみながら仕事を続けたい」と抱負を語っています。先日の高祖会でも、ご家族揃ってお参詣。皆さんも安藤さんを見かけましたら、ぜひお声がけください。

## 和気あいあいの「ご信心」〜第三地区錬成会



錬成とは、「人が技を訓練して上達し、非常に高いレベルに達する事」を言います。その意



味で、毎年、地区ごとに開催している私たちの錬成会は、ご信心のレベルを上げるための伝統ある自主的な企画です。

第三地区の錬成会は10月9日に、開催され寂光の道しるべ「教

義篇」を基に和気あいあいな話し合いが行われました。

地区長の井上京子さんは「日尚上人への報恩ご奉公に必要なものは、こうしたご信者同士の日ごろの気さくなお付き合いであることを再認識した錬成会でした」と語っています。

おめでとつございます  
無事養育成長を願う

初参り



伊藤 青(しょう)君平成29年6月10日生  
両 親 伊藤寛高/澄さんご夫妻  
祖父母 安藤照志師/三十子さんと  
ご家族のみなさん (水魚会)



坂中 潤君 平成29年8月9日生  
両 親 坂中甲一/めぐみさんご夫妻  
祖父母 坂中芳彦/澄江さんと  
教区のみなさん (都教区)

# お教化特集

## 御縁によって 人生が変わる 神野照報師

さて因果の道理を説く仏法では、因と果を直接結びつけずに、その間に縁を入れて、

因縁果と並べます。それはどんな立派な種（妙法）があっても縁を持たなければ結果は生じないからです。私の信心も好い人に巡り逢わなければ名ばかり信者でした。

不思議な縁で一緒になった家内に、お寺やお講参詣を勧めて何とか妙法の御信心を伝えておりました。しかし、私と違って直ぐに教区の方達と仲良くなくなり、色々と言心をする、心構えや、

お給仕等、ご奉公の仕方を教わったそうです。教えているつもりが教わるようになり逆になりました。

それからまもなく、家内が従姉妹を教化したので協力してほしい、と頼まれました。当然喜んで協力させて頂いて家内の初め教化となりました。

その後、従姉妹は田舎の両親を教化。御主人も教区長の御役を頂いたりして、今では実家が親会場として家族でご奉公させて頂いております。この方の何事も御題目口唱で乗り越え

いう、御教え通りの信心振りに感心する事ばかり、私も見習う事によって、ご奉公が順調に進み、御利益も次々といただける様になりました。

それからは、家内にも協力してもらい、何人か教化させて頂きました。が、今までの自身のご奉公を振り返って見れば、不思議な御縁を頂き、色々な御支援を頂き、今教務として御法様、御導師に御仕えさせて頂けるのも、初めて教えを伝えた家内や回りの人達から、逆に教えられていたからこそ、今の自分がある事に気付かされたのです。つまり私自身が教化されていたのです。

■私のよろこび

## お寺で御講奉修

杉並教区 Kさん

本日は住職がお勤め下さる甲御講をお寺の御宝前をお借りして奉修させて頂きました。

初めて参詣なさった皆様も一緒に題目口唱に励まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

信者のお宅での御講は何となく行きにくいですが、お寺なら以前参詣したこともあるし、今日は祝日敬老の日、お出掛けし易かったのかもしれない。

お寺の御宝前を使わせて頂きますと、お三宝、御法門台等のお道具をお借りできます。

自宅が狭い、または一人暮らし

しの高齢者だから、大勢参詣される御講は実現出来ないご家庭でも、お寺なら私にでも可能だし席主の功德を積ませて頂きました

■私のよろこび

## 高祖会、親子揃ってご奉公成就

福岡教区

Mさん

4月の開筵式に家族揃ってお参詣させて頂きましたので、今年の高祖会のお参詣は考えておりませんでした。7月のお講席で、お受け持ちお講師から「森川さん、高祖会はお参詣するの？」と突然、聞かれました。「は

い、或いは今日をきっかけに、お寺での御講や御総講に気軽に足を運びたいとお考え下されば幸いです。

そして、異体同心で新しい方の将引に力を注ぎ参詣者増加と御弘通発展のご奉公に繋げる所存です。

い」と即答させて頂いておりました。すると、御宝前様から奨引を頂いたかの様に、その後は流れが大変良く全てがご利益でした。

航空券は格安でとれるし、何より、土曜日も学校がある娘が、

喜んで素直にお参詣とお会式ご奉公を決定。この度、無事デビューさせて頂けました。

「轉教」に「高祖会、ご奉公者募集！」のご披露を拜見し、「開筵式で気持ちが終わらせていたのではない。今年のうちにもう一度、お参詣させて頂きご奉公させて頂く事で、報恩ご奉公とさせて頂こう」と思いました。

とはいっても、日帰りなので、朝一番7時発の飛行機で羽田空港に向っても、お寺に着けるのは10時。出来るご奉公には限りがあります。

後は全てをお任せしよう！  
と思つてご祈願しお看経していたら、護法委員さんが高校生の娘の事を考えて「玄関前のごあいさつご奉公係」に回して下さい

いました。係長さんも他の係の方も、蓮華会のお役中さんばかりで本当に良かったです。「蓮華会のスイカ割りで会ったよね！」と3年も前のお参詣の事まで覚えていて下さり「お兄さん、お姉さん」というスタンスでにこやかに娘に直接、話しかけて下さいました。事務局の方まで気を使つて下さいまして、娘には花柄の可愛いタスキが用意されていました。

2座へのお参詣者入れ替えも終わり玄関前ご奉公が一段落した頃、本堂に降りて行くと、既にお看経が始まっていました。空いている後ろの椅子に座ろうとしたら、尚子奥様が直々に私の横において下さり、席上係の方に「前に行かせてあげて」とお声をかけて下さいました。遅

れて本堂に入ったのに、娘も私も一番前の御本尊様の真ん前でお看経させて頂く事が出来ました。

高祖会恒例のスライドも、子供にまで解る様にとの配慮を頂き、あえて簡単な言葉で如説修行抄の内容を対談形式で製作されてありました。

主人は、本堂からのネット配信にあわせて2座とも、福岡でお看経してくれたそうです。マイクに近い所に座つたので、娘のお看経の声が思いつき入つていた！と帰つて報告を受けました。

「その人なりの精一杯のご奉公を」と事務局長さんがご披露された様に、来年は受験になりませんが、工夫して報恩ご奉公成就をお願ひして参ります。

# まいた種ははえる

さがみ原教区 Sさん

本日は、町田教区のOさん宅にて、後継者育成助行を開催させて頂きました。はじめて育成助行を受けていただきました。さらに、11月に初めての甲御講を受けていただくことになりました。

今年は特に、積極的にご奉公に参加されて、年初めから甲の願主にもなり、ご信心も絶好調です。同連合内でも私たちの励みです。

Oさんのご両親がかつて乗泉寺の中野の十貫坂教区にて、ご奉公されたことがはじまりで長

い信歴をお持ちです。

しかしながら、直ぐには信行相続されたわけではなく、ご結婚を機にお子さんの大病やご主人が亡くなられたことで、この信心におすがりされることになったのです。ご本人は長いだけで中身はないと謙遜されていました。今ここにご両親の信心の種まきが及川さんに受け継がれ開花したことは本当にすばらしいことだと思えます。

これからご自身の身体健全、ご長男のHさん、ご次男のTさんの信行相続等、Oさんの持ち

前の明るさと笑顔で必ずや成就させていただけます様に、心より応援したいと思います。

## お看經のあとは

### 霊堂でお焼香を

朝の法城護持のお助行のあとは、日尚上人の霊堂でお焼香をさせて頂きましょう。



# ★こどもたちの会★

まよ ぶ き はから いのだ  
**「迷いを振り切ってお計いを頂こう！」**

<p>ありがとうございます！</p> <p>ありがとうございます!!</p> <p>で、できました!!</p> <p>⑥ お参詣する事が</p>	<p>① お会式にお参詣したい          気持ちはあるけど...でも足も痛いし、体調もイマイチだし...どうしよう...</p>
<p>溢れてきました。</p> <p>とても嬉しくて涙が</p> <p>途中からのお参詣だけど、ご法門も開けて本当に良かったわ!</p> <p>⑦</p>	<p>② 一人で行く自信もないし、少し様子を見てからにしようかしら...</p> <p>と、思っていましたか</p>
<p>下さいました。</p> <p>迷いながら信心させて頂くと、ご利益は頂けませんよ。</p> <p>⑧ その日のご法門では</p>	<p>③ 当日</p> <p>なんとなく痛みもないから、よーし!思い切って出かけよう!!</p> <p>乗り込みました。</p> <p>新幹線に</p>
<p>④ まさに今日、私が体験させて頂いた事だわ!迷いを振り切ってお参詣させて頂いて良かったわ!!</p>	<p>④ 電車もいつもより遅いのに乗ってしまったし、お会式に間に合わないかもしれないけど...お寺だけでも拝見したいわ。</p>
<p>⑩ また一緒に参詣しようね!</p> <p>今日のこの喜びを忘れず、この信心に励みたいわ!</p>	<p>⑤ 途中トラブルも</p> <p>よ良く来たわね!!</p> <p>姉があらまじったが、何となく姉とも合流できー</p>



高祖会の献花